

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【チョンゴニの壁画・岩絵】 マラウイには2つの世界遺産があり、一つ目が以前紹介した事のあるマラウイ湖。そしてこのチョンゴニの壁画・岩絵がマラウイ2つ目の世界遺産です。チョンゴニ地域はマラウイ中部に位置するデッサ県内にあり、首都リロングウェからも簡単にアクセスすることができ魅力あるポイントです。ですが実はこの壁画、世界で最も残念な世界遺産とも言われており、実際に人気もさほどありません。周囲からの評判を聞き限りでは、個人的に興味をそそられなかったのですが、せっかくの世界遺産ということもあり行って参りました。評判通り、世界遺産にも関わらず自分達以外の見物者は誰もおらず、警備員も管理員も見当たりません。これまで訪れた世界遺産ではこんな事ありませんでした。この壁画、私達素人が見ても何が描かれているのかもよく分からず、リアクションに困ってしまいます。しかし、これらの壁画は石器時代に書かれた物が多数集まっており、その数なんと127ヶ所。冷静に考えてみると紀元前1万3000年以上前に描かれた物が、このように自然な状態で残っているという事は歴史的にとっても貴重な物で、私の範疇を越えるものでした。この地域には壁画・岩絵だけでなく広大な自然も有し、その背景だけでもアフリカの迫力や歴史の経過を実感させられます。冒頭では「世界で最も残念な世界遺産」とも言いましたが、実際はそんな事はなく、私の中ではとても感慨深いものがありました。なんとも言葉では表現できない感覚に包まれ、大きなパワーを感じたようにも思えます。マラウイに訪れた際には是非ともこのチョンゴニ地域の自然パワーを感じていただきたいと思います。

チョンゴニ地区



【座り方】 皆さん、地べたにどのような座り方をするのが一番楽な座り方ですか？ 実際には様々な座り方が存在しますが、横座り、あぐら、体育座り。日本人だとこの様な座り方がリラックスできる体制ではないでしょうか。しかし、マラウイではほとんどの人が長座の体制で座ります。作業する時や、雑談する時も同じ体制です。また、立っている状態でも床から物を拾うとき、日本人の多くは膝を曲げてから物を拾う動作を行います。マラウイ人は膝を曲げないまま床の物を拾います。雑巾がけも同様です。アフリカ人と東洋人では体の構造が違うように、日常生活の中の動作も大きく異なります。



【日本の旧車】 マラウイには日本で見慣れた日本車が多数走っている事は既にご存知だと思いますが、逆に日本では見る事の珍しくなった旧車も多く走っています。今でも現役として活躍している日本車を目の当たりにすると、改めて日本の技術の素晴らしさや、世界からの人気・信頼の高さを感じ、日本人として大変誇らしく感じます。



【後記】 4月を迎え、残すところ6カ月となりました。正直、自分だけ成長できているのか、どれだけの成長がされているのか、多くは分からないままです。また、日本に帰国した際に周囲との遅れや、日本社会への順応が素早くできるであろうかなどと考える事も多々あります。帰国の事を考える今、逆に日本へ帰る事への不安が芽生えてきています。とは言っても日本に帰る事が待ちきれません。残り半年。日本食。お風呂。妄想が膨らみます。



【近所の子供】 時々近所の子供たちが家に遊びに来くれます。この子供達にとっては紙を容易に手にする事ができませんので、我が家に来た際は裏紙や使わなくなった資料等を使ってお絵かきや折り紙を教えています。初めは見様見真似で難しそうにやっていたのですが、紙飛行機や箱の作り方を教えたら、一生懸命覚えようとしてくれて、何回も練習し帰って行きます。折り紙をしらない彼らにとっては、難しくなかなか上手に出来ないのですが、次回来た時に練習の成果を見せてくれることも楽しみの一つです。